



中部大学春日丘高校 SGH 課題研究「世界の現状を知り考える学習」(9 時限/6 回)

—「教えられる」のではなく、自ら発見する力を養い、「気づき」を「行動」へとつなぐ—

第 5 回 世界の現状と課題 ~グローバル・ 이슈ー 何が問題?なぜ問題? 環境(持続可能性)~

● 開催概要

- ◆ 日時： 第 5 回…2017 年 5 月 20 日 (土) 3・4 時限 [10:50~12:40]
- ◆ 場所： 中部大学春日丘高校 1 年 A 組、B 組、C 組、本校者 2 階学習室
- ◆ 指導者： NPO 法人 NIED 国際理解教育センター職員、本校教員 (=ファシリテーター)
- ◆ 第 5 回学習のねらい：
 - ① グローバル・ 이슈ーを、人権(貧困)と環境(持続可能性)の視点から掘り下げつなぐりに気づく。
 - ② 問題の現状を知り、原因を探り、解決に向けて必要なものや役立つことを考える。
 - ③ 様々な参加型手法を活用し、協力して学ぶ力、ファシリテーションの力、システム思考を養う。

● 学習の流れと成果 ※「F」はファシリテーターの意。

1、オリエンテーション

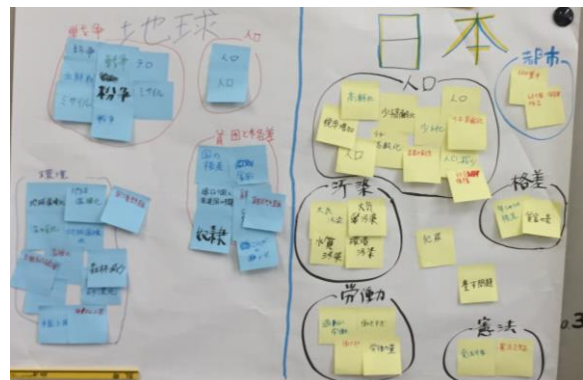
- ① 第 4 回のふりかえり…第 4 回で行った貿易ゲームで印象に残ったこと、発見したことを発表してもらった。
- ② 第 5 回のねらいを F が説明した。

2、地球の課題・日本の課題とそのつながり

- ① 地球の課題・日本の課題出し
 - …各自、「地球の課題」だと思ふこと、「日本の課題」だと思ふことをそれぞれ考え、付せん紙に書き出した。
- ③ KJ 法による分類・整理
 - …グループ内で、書き出した付せん紙をカード式整理法(KJ 法)でまとめた。
 - また、各カテゴリ間のつながりや世界と日本の課題とのつながりを見つけた。



グループで話し合う生徒たち



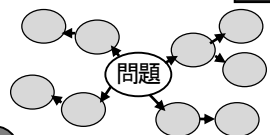
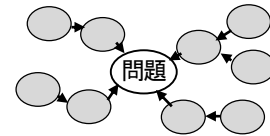
KJ 法によりまとめられた日本と地球の課題

3、地球温暖化の背景を探る ～温暖化ってどんな問題？どうして問題？～

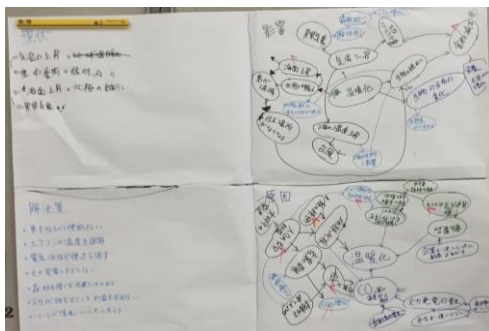
- ① 地球環境クイズを配布し、グループで答えを考える。その後Fによる答えと解説。
例) 現在日本では、ゴミを埋め立てる場所(最終処分場)がだんだん減っている。
このままのペースで埋め立て続けていくと、あと何年で一杯になるか？ (答え: 18年)
- ② 温暖化の原因と影響に関する資料を各自読む。

4、持続不可能な現状と持続可能な未来のギャップを埋める

- ① システム思考でテーマの掘り下げ
…地球温暖化という問題について、システム思考を使ってグループ内で分析する。

<p>システム思考による各問題の分析方法</p> <p>【現状】…テーマに関して、どんな問題が起きているか？ 何が問題となっているか？考える</p> <p>【影響】…その問題を解決しないとどうなるか？多様な視点からその影響を考える</p> <p>【原因】…それらの問題を作り出している原因や背景は何か探る</p> <p>【解決】…問題を解決するために必要なもの、役立つことをなるべくたくさん考える</p>	<p>現状 <リスト></p> <ul style="list-style-type: none"> • ○○○○○ • △△△△ • □□□□□ • ☆☆☆☆ 	<p><派生図></p>  <p>影響</p>
	<p>解決 <リスト></p> <ul style="list-style-type: none"> • □□□□□ • ○○○○○ • ☆☆☆☆ • △△△△ 	<p><因果関係図></p>  <p>原因</p>

- ② 全体共有
…グループで問題を分析してみてわかったことをプレゼンする。同じことの重複はさけて、いくつかのグループに付け足してもらおう。



地球温暖化についてシステム思考で分析



クラス全体にプレゼン

5、全体ふりかえり

☆発見したこと、気づいたこと、わかったこと

- ・地球温暖化は私たちの生活との影響が大きく関わっているとわかった。
- ・システム思考における考えは、原因に基づく現状やこれから予想される影響、そしてその解決策が明確にわかるので画期的だと思った。
- ・解決策がわかっているのに実行しないということが、すごく問題だとわかった。

☆大切だと思ったこと、これから実行しようと思ったこと

- ・一人一人が楽を求めすぎず、今あるものを有効活用すること。
- ・食べられる量だけ作る、買う。
- ・今まで見て見ぬふりをしていた。環境についてももう少し向き合っていきたい。